

要 望 書

直轄海岸保全施設整備事業「八代地区」の推進について



【八代海岸に広がる八代平野】

令和6年11月

熊本県八代市

八代海岸地区国営海岸保全施設整備事業推進協議会

八代市における農業基盤整備の推進につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本市に広がる八代平野は、一級河川の球磨川や二級河川の氷川などから流下した土砂が堆積してできた扇状地や三角洲等の沖積平野と、西暦1600年頃から始まる干拓事業により造成された低平地で形成され、現在、水稻をはじめ、本市を代表する農産物であるい草やトマトのほか、イチゴ・メロン等の施設園芸や多様な露地野菜が生産されており、県内有数の農業地帯となっております。

しかしながら、本市の農業振興を図るうえで、極めて重要な役割を担うとともに、背後地の住民を守る農地海岸は、築造後、約100年以上が経過しており、八代海特有の干満差の大きい潮汐作用や平成28年熊本地震をはじめ、多くの自然災害等の影響を受け、老朽化による損傷や機能低下が顕著になっており、地域住民は不安な生活を強いられています。

さらに、近傍には多くの活断層を抱える日奈久断層帯が存在しており、今後、ひとたびこの断層帯を起因とする大地震が発生すれば、海岸堤防の損傷や液状化被害が発生し、農地や農業用施設、背後地の人家等に甚大な被害を及ぼすことが危惧されています。

このような中、令和3年度から直轄海岸保全施設整備事業「八代地区」に着手いただきましたことに、深く感謝申し上げます。現在、九州農政局の現地事務所である八代海岸保全事業所により、改修工事に向けた測量設計や資機材搬入路工が着々と進んでおり、今年度から堤防補強工事に着手する予定となっております。

しかし、事業期間が令和3年度から21年度までの19年間と長期にわたること

から、できる限り早い完工を目指して、直轄海岸保全施設整備事業「八代地区」の更なる進捗と予算確保のため、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年11月

八代市長 中村博生

八代海岸地区国営海岸保全施設整備事業推進協議会

会長 八代市長 中村博生